

岐阜県家庭教育学級実践事例

体験活動参加型+講演会型+子育てサロン型

園名	海津市立石津認定こども園
実施日	令和7年6月3日(火)
会場	石津認定こども園 遊戯室
参加人数	園児32人、保護者23人
学習課題(分野)	親子ヨガ・運動、講話&保護者交流会(基本的な生活習慣・家族の大切さ)
運営者の願い	保護者参加型の保護者参観・親子講座を通してスキンシップを図り、親子の絆を深めたい。また、保護者間の親睦を深めたい。

学習の内容

<事前準備>

- ・ グループを作るので人数把握のための出欠席を取った。
- ・ 役員で進行係、写真係、書記係など割り振った。
- ・ 前日に机を準備し、アンケート用紙・家庭教育学級開講式の冊子を揃えた。
- ・ 当日遊戯室入口でアンケート・冊子を配布し出席者のチェックをした。

<親子ヨガ・親子運動>

○園長あいさつ

○親子ヨガ、親子運動

- ・ 1.2.3歳児(前半)、4.5歳児(後半)で実施
- ・ 呼吸法を学び、親子で触れ合い、膝の上に立ったりしながらバランス感覚を養う運動等を行った。



○講話(全保護者対象)

子どもの心に言葉を伝えるためには、まず「傾聴」し肯定のメッセージを伝え、「承認」すること。努力・過程を褒めることが必要であることを学んだ。

<保護者交流会>

7、8人の3グループで分かれ、輪になって着席した。役員が各グループに入り進行した。

○自己紹介

- ・ 順番に①名前②自分の子どもの好きなところ③今、ハマっていること(好きなこと)を話した。(アイスブレイク)
- ・ その後、自由に交流した。



<参加した保護者からの感想>

- ・ 講話は子育てだけではなく社会にも通用する内容で、とても興味深かった。
- ・ 話の内容が心にチクチクささった。
- ・ 子どもとの接し方を見直す機会となり、気を付けようと思える内容だった。
- ・ 子どもと一緒に体を動かしてよかった。いいスキンシップになった。
- ・ 一緒にやった運動は、家でも挑戦していた。
- ・ 交流会は短い時間だったが、みんなの話を聞ける良い機会だった。ほかのお子さんがどんなことにハマっているか、どんな子なのか知ることができ良かった。
- ・ 全体的にスケジュール詰めすぎ。もう少し交流会の時間が欲しかった。

<役員感想>

家庭教育学級の初回で不安もありましたが、皆さんの協力で無事終えることができました。講話は子育てについて見直す機会となり、親子ヨガ・運動はスキンシップをとりながら一緒に体を動かす大切さを学びました。

交流会では、お子さんの話を通して保護者の親睦を深める事が出来ました。次回は改善点を踏まえて、次に繋げていきたいと思いました。



日程の工夫

親子を2グループに分けて、親子ヨガ・親子運動と保育参観を交代で行った。間に講演会を入れて、全保護者にお話を聞いていただける日程にした。



来年度に向けて

交流会の時間が足りなかったとの意見があり、時間の調整が必要である。

交流会は、事前に話す内容を伝えてフリートークの時間を作った方が、もっと楽しく交流出来たかもしれない。